

シナリオ名：力が欲しいか（レッツ・マジカル・チェンジ！）

ソロシナリオ

推奨 PC：おじさん

【今回予告】

あなたの脳裏に声が響く。

「力が欲しいか…？」「力が欲しいならば…」「…くれてやる！」「だから…」

「ボクと契約して、魔法少女になってよ！」

この声の主は本気で言っている…そう理解したあなたは冷や汗を流した。

脅威：魔法少女勧誘員（小動物）

魔法少女を募集している組織に所属する小動物型の何か。

「別に少女に限定する必要なくね？というかおじさんでも良くね？」と考え、力を持つギャップおじさんに目をつけてしつこく勧誘してくる。

なお、魔法少女に変身したら当然フリフリの衣装になる。契約のデメリットは特に無い。ゾンビとかにはならない安心仕様。

耐久面は脆いが攻撃などで行動不能状態にしても、同じ意思を持つスペア個体がやってくるのみである。

出自：魔法使い

異能特技：超握力、力場、光弾、召喚、類感、誘導

所有スキル：『フォース』『離すかよ』『誘惑』『※英雄』

異音フェイズ

あなたの脳裏に声が響いた。「力が欲しいか…？」

あなたがどんな対応をしようと、声は繰り返し聞いてくる。

気がつけば目の前に奇妙な小動物がおり、こちらに向かって口を開いた。

「ボクと契約して、魔法少女になってよ！」

…なんでも、強い力を持つ者なら強い魔法少女になれるだろうという合理的判断らしい。

なお、あなたの攻撃か、それとも何らかの事故かで一度行動不能状態に陥るが、スペア個体がやってきて再びあなたに契約を持ちかける（再起演出）

狂騒フェイズ

とにかく勧誘します。誘いまくりです。

『誘惑』スキルで判定が+2されてることに注意。

決戦フェイズ

攻撃を行います。光弾→力場→超握力の流れがいいでしょう。

最初の攻撃の後『離すかよ』を発動します。失敗したら『フォース』で達成値を引き上げましょう。

『※英雄』で光を3つ持っているため、スキルのコストはそこから使用します。

和解条件：お試し契約

勧誘に負けたあなたは、一度だけだという約束の末魔法少女に変身する。

だが、変身したその衣装は予想よりもフリフリで、可愛らしく、アバンギャルドで、おじさんには似つかないものだった。

その姿を見た小動物は引きつった表情を見せながら、契約を破棄してどこかへ去っていこう。

魔法少女衣装のままのあなたを残して…

「なんか…無理に契約してごめんね…今回の話は無かった事に…」

決着時

何度も拒絶していくと流石に折れ、あなたとの契約は諦めると言ってくる。

しかし、ならばせめてという事で他に強い人物がいないかをあなたに尋ねてくる。

あなたは、他のギャップおじさんを紹介してもいいし、その質問を無視してもいい。

とにかく今は、魔法少女になるという危機が去ったことに一息つくでしょう。

タイトル：力が欲しいか

作者：斬白

講評：

魔法少女になってよ！なシナリオです。

まず、和解条件で一度笑ってしまったので私の敗北は決定していますが、講評は真面目にやります。誰もが一度は想像するだろう魔法少女シナリオを形にし、和解条件のオチのつけ方は秀逸です。脅威の目的もわかりやすく、なぜそうなったのかについても納得できる理由があり、このシナリオを遊ぶ上で、脅威の設定などで疑問抱くことはほぼ無いでしょう。

しかし、問題点も2つほどこのシナリオには存在します。

1つ目は和解条件の「お試し契約」

PCの設定次第ではあるのですが、1回だけという約束なら早い段階で和解を受け入れる可能性があり、また、このシナリオで最もインパクトのある展開であるにも拘らず日の目を見ない可能性もあります。前者はどのタイミングで提案するかは記載が無いため、決戦中など条件をつける必要があり、後者はせっくなので決戦終了時に提案をし、判断をゆだねるなどした方がいいかもしれません。

2つ目は決戦フェイズの演出です。

異音フェイズで、小動物は倒してもスベア個体がやってくると記載があり、PC側の心理としては通常の戦闘の形では小動物を倒すことは不可能、と判断する可能性があります。もし、不可能ではないと判断したとしても、ただの力押しで小動物を諦めさせられるか、と考えたとき、成功する根拠はPCにもPLにも存在しない状態で決戦フェイズに入ってしまう。ここも回すGMの演出次第な部分ではあるのですが、決戦がどのような形で行われるのか。そして小動物をどのようにして諦めさせるのか、といった記述があるとより親切でしょう。PC、PLにわかる形で設定するのであれば痛快なシナリオに。GMのみがわかる形であれば無限増殖する小動物を相手にするというホラー調のシナリオに。演出次第で様々な顔を見せる可能性があるシナリオだと思います。